

琵琶湖を守るための活用のあり方について
～第 1 回琵琶湖活用推進検討会議の概要～

1. 会議の概要

- ◇日 時 平成 29 年 7 月 31 日 (月) 10:00～12:00
- ◇場 所 県庁北新館 5-B 会議室
- ◇出席委員 12 名 (欠席 川戸良幸委員) ※委員名簿: P3 のとおり
座長は委員の互選により北村裕明委員に決定
- ◇議 題 琵琶湖活用の現状や課題について 他

2. 委員からの主な意見

(1) 魅力や価値の再発見・整理の重要性

- ① 琵琶湖の価値を我々自身が再発見することが、当事業の根幹と考える。
- ② 地元の人にも琵琶湖に関わってもらうきっかけを作り、関心が琵琶湖に向くようになれば、琵琶湖を守る人となってもらえる。
- ③ 単に団体のツアーで訪れても、沖島の魅力は伝わらない。「暮らしの島」であり、数ではなく、リピーターを増やすような観光の振興が重要
- ④ 「木地師のお椀で湖魚を食べる」とか「鹿肉と湖魚のコラボ」など、山から湖までの食や暮らしをまとめて考えられないか。
- ⑤ 山が荒れると琵琶湖は汚れる。そのつながりを今頃認識しているようでは遅い。水を良くするには、源流から改善する必要がある。

(2) 体験の機会の重要性

- ① 湖上体験には全国から多くの学校に来ていただいており、しっかりとしたメニューを作り商品化すれば、全国の旅行業者が「購入」をしてくれる。湖上体験からの農家民泊など、プログラムをつくる必要がある。
- ② 今の子どもたちは、圧倒的に体験不足。学校教育の中で、漁業体験や水上スポーツなどを体験させたい。
- ③ 「スポーツをする」だけでなく、「スポーツを見る」人が増えてくる中、漕艇場に観客席がないのが課題。プリンスホテルからびわ湖ホールを経て琵琶湖ホテルまでの直線で、ギャラリーを集めてレースができれば、と思っている。

(3) 情報発信の重要性

- ① 県内向けの「インナー・ブランディング」をしっかりと行い、子どもたちに正しく伝える必要がある。
- ② 琵琶湖に対しての評価は「県外の人」からの方が高く、逆に県内の子ども達などは教えられた知識から「昔はきれいだったが、今は汚い」と答える。

- ③ 今年東近江市で行われた「SEA TO SUMMIT」のように、市町で様々なイベントが行われている。県での統括したPRが必要ではないか。

3. 第1回会議を踏まえた今後の検討について

第2回会議（9月下旬予定）

- 国内外の活用に関する事例調査結果（途中経過）報告
- 論点整理を踏まえた「具体的な活用方策」、「あり方（骨子）」について意見聴取

【論点（案）】

- 琵琶湖や地域資源の魅力・価値の再発見・再評価
- 体験の場・機会の確保
- 情報の掘り起こし・集約・発信力強化
- 琵琶湖に関わる主体の協働・交流の促進
- 環境負荷を抑える工夫
- 活用を支える制度・支援の仕組

【主な活用方策（例）】

- エコツーリズム、ピワイチ、湖上スポーツ
- 琵琶湖を教材とした教育旅行、校外学習、環境学習
- 歴史文化・生活文化の体験
- 「びわ湖の日」の更なる展開
- 活用推進組織の立ち上げ 等

第3回会議（11月中旬予定）

- 骨子を踏まえた「あり方（素案）」について意見聴取

第4回会議（1月下旬～2月上旬予定）

- 素案に対する意見を踏まえた「あり方（原案）」について意見聴取

「琵琶湖活用推進検討会議」委員名簿

(50音順・敬称略)

| | 所属名 | 役職名 | 氏名 | (備考) |
|----|-------------------------|------------------|--------|-----------------|
| 1 | 滋賀県立大学 環境科学部 | 教授 | 井手 慎司 | マザーレイク フォーラム |
| 2 | 株式会社 エフウォーターマネジメント | 国際部 係長 | 大橋 希 | 水環境 ビジネス |
| 3 | NPO 法人 琵琶湖ローイング CLUB | 代表理事 | 小原 隆史 | スポーツ・ 福祉 |
| 4 | 琵琶湖汽船株式会社 | 代表取締役社長 | 川戸 良幸 | 観光・ 湖上交通 |
| 5 | 滋賀大学 環境総合研究センター | センター長 | 北村 裕明 | 学識経験者 |
| 6 | 滋賀県立大学 人間文化学部 | 学生 | 久保 瑞季 | ※大阪より沖 島に移住 |
| 7 | 滋賀県教育委員会 幼小中教育課 | 主査 | 栗田 一路 | 教育 |
| 8 | 滋賀県漁業協同組合連合 青年会 | 会長理事 | 中村 清作 | 農林水産業 (漁業) |
| 9 | 関西アーバン銀行 | CSR・環境事業室 審議役 | 原田 久明 | 金融 |
| 10 | 東近江市永源寺森林組合 | 技術職員 | 松尾 扶美 | 農林水産業 (林業) |
| 11 | 株式会社エフエム滋賀 | アナウンサー | 森田 純史 | メディア |
| 12 | 守山市 環境政策課 | 課長 | 山本 祐美子 | 行政 |
| 13 | オーパルオペテックス 株式会社 | 代表取締役 | 山脇 秀錬 | スポーツ |